

各 位

会 社 名 株式会社Eストアー
 代 表 者 代表取締役 石村 賢一
 コード番号 4304
 問い合わせ先 取締役兼執行役員
 コーポレートセンター担当
 柳田 要一
 T E L 03-3595-1106

平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、業績の予想を開示しておりませんが、平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、大阪証券取引所の開示規則に基づき、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 平成 25 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前年同期実績 (A) (平成 24 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間業績)	百万円 2,375	百万円 250	百万円 251	百万円 152	円 銭 3,574 47
今回発表実績 (B) (平成 25 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間業績)	2,973	353	350	207	4,890 72
増減額 (B-A)	598	102	98	55	—
増減率 (%)	25.2	41.1	39.1	36.8	—

(注)平成 24 年 3 月期第 2 四半期の連結子会社の損益影響は実質 3 ヶ月間となっております。これは、平成 24 年 3 月期第 1 四半期からの四半期連結財務諸表作成にあたり、連結子会社の連結基準日を前第 1 四半期連結累計期間の末日としているためです。

2 差異が生じた理由

前表(注)のとおり連結期間の違いに加え、当第 2 四半期連結累計期間は、EC 事業における自社販路の顧客店舗業績が順調に増大し、当社フロウ収益が伸張したことと、集客事業における広告取扱総量の増大などにより、売上高は前第 2 四半期連結累計期間に比べ 598 百万円（対前年同期実績 125.2%）の増加となっております。なお、連結期間を合わせた場合、売上高の実質的な増減率は 16.1%増と試算しております。

また、期初の計画どおり、マーケティング支援モデルの完成のために積極的事业投資策を行っておりますが、一方で前年同期ほどの人員採用費は発生せず、札幌マーケティングファクトリーの開設に伴うテクニカルサポートの効率化などにより、営業利益は前第 2 四半期連結累計期間に比べ 102 百万円（対前年同期実績 141.1%）の増加となっております。

以 上